

## 地域特性を生かした圏域別振興方向

県全体の振興方向を踏まえつつ、各圏域の地域特性を最大限に生かし、効果的な振興施策を推進します。



### 01 北部圏域

#### 特徴

本圏域の農業の品目別拠点産地は、ゴーヤー等の野菜、パインアップル（生食用）、シークワサー、マンゴー等の果樹、輪ぎく、切り葉等の花き、その他にかんしょや薬用作物（ウコン）、畜産の肉用牛など 38 産地が拠点産地に認定されており、生産振興に取り組んでいます。また、各種の農業生産基盤の整備が進められており、農業生産の拡大が期待される地域です。本圏域の森林面積は県全体の 49%を占めており、県産木材の安定供給が期待されるとともに、大型きのこ生産施設が整備されるなど、本県林業の中心地となっています。一方で、やんばる3村の森林の一部については、令和3年に世界自然遺産に登録されており、自然環境に配慮した森林施策が求められています。水産業については、パヤオ漁業、ソデイカ漁業等が行われているほか、海ブドウ、モズクの養殖が盛んで、県内の主要産地となっています。また、多様な自然景観に恵まれ、観光産業とも連携した体験・滞在型のグリーン・ツーリズム、森林ツーリズム、ブルー・ツーリズムを通じた農林水産業の振興が必要な地域です。

▼パインアップルほ場



▲シークワサー栽培

#### ア | 農業

##### 振興方向

- さとうきび、パインアップルの生産振興を図るとともに、ゴーヤー、かぼちゃ、すいか等の野菜や輪ぎく等の花き、かんきつ類やマンゴー等の果樹の振興
- 畜産、花き、果樹等の農林水産物のブランド化
- 耕畜連携や環境への負荷低減を図るなど自然環境の保全と産業振興が両立する地域の形成
- かんがい施設や区画整理等の生産基盤の整備、農業水利施設等の長寿命化、防風林等の農地保全対策の推進
- 特産品（黒糖、シークワサー、ウコン、紅茶等）の高付加価値化、ブランド化
- 観光産業等と連携した6次産業化の推進と農産加工施設の整備
- 農地を重点とした総合的な赤土等流出防止対策
- 肉用牛と養豚の飼養管理技術の向上や優良種畜の導入の推進
- アグー豚等の独自ブランドの系統維持・育成・拡大、酪農及び養鶏の生産振興
- 飼養衛生管理基準の遵守や危機管理体制の構築をはじめとした、豚熱、鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の防疫対策の強化
- 学習機会の提供や経営・技術指導等による新規就農者の育成支援
- 生産現場や普及指導機関等との連携による課題解決のための技術開発と普及
- 新たに移転・施設整備する沖縄県立農業大学校を拠点とした農業の担い手育成の推進
- やんばるの自然やシークワサー等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮
- 地域特産物の出荷コストの負担軽減等による域外出荷の拡大

イ | 森林・林業

振興方向

- 更なる森林資源の充実と質的向上
- 木材生産機能の高い区域における効率的な森林施業及び林内路網の整備
- 世界自然遺産に登録されているやんばる3村地域における森林の利用区分（ゾーニング）に基づいた自然環境に配慮した森林施業、森林利用と保全の調和のための環境教育や保健・休養の場としての総合利用の推進
- 森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮を目的とした保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備
- 森林病害虫による多面的機能の低下防止を目的とした防除対策
- 多様化する消費者ニーズに対応した製品や需要拡大を目的とした木材やきのこ類等の林産物の情報発信の強化
- 他産業との連携強化による木材やきのこ類等の林産物の素材の特性等を生かした高付加価値化



▲やんばるの森

ウ | 水産業

振興方向

- 海ブドウ、モズク、ソデイカ等の戦略品目の生産振興
- 漁港・漁場等の生産基盤施設の計画的な維持更新及び水産物の生産・加工・流通機能の強化
- 栽培漁業センターを核とした種苗の安定供給、技術の開発・普及、有望株の保存・普及、課題解決等によるつくり育てる漁業の推進
- シラヒゲウニ、ハマフエフキ、スジアラ、シロクラベラ、イセエビ類等の近海魚介類の資源管理による水産資源の持続的利用



エ | 周辺離島

振興方向

- 離島地域の経済を支えているさとうきびの増産に向けた取組
- 農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援
- 黒糖ブランドの確立と販路開拓等による需要拡大
- 農林水産物を活用した特産品の開発、ブランド化
- 観光産業等と連携した6次産業化の展開や販路拡大
- グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムの推進
- 伊江村における肉用牛や輪ぎく、らっきょう、とうがん等の生産振興
- 伊平屋村や伊是名村における水稻等の生産振興

重点振興品目

【耕種】 さとうきび、パインアップル、水稻、葉たばこ、茶、ゴーヤー、さやいんげん、かぼちゃ、すいか、とうがん、島らっきょう、ばれいしょ、たまねぎ、温州みかん、中晩柑類、シークワサー、その他かんきつ、マンゴー、パッションフルーツ、アセローラ、アテモヤ、きく、切り葉、洋ラン、観葉鉢物、トルコギキョウ、ヘリコニア、リアトリス、かんしょ、薬用作物類

【畜産】 肉用牛、豚、鶏、乳用牛

【林業】 木材、木炭、きのこ類

【水産業】 海ブドウ、モズク、ヤイトハタ、ソデイカ、アーサ、カツオ、シラヒゲウニ、マグロ類、スギ、ハマフエフキ、スジアラ、シロクラベラ、イセエビ類



02 中部圏域

特徴

本圏域の農業の品目別拠点産地については、オクラ等の野菜やマンゴー等の果樹、小ぎく等の花き、かんしょ、薬用作物（グアバ）など16産地が拠点産地に認定され、生産振興に取り組んでいます。また、農業用水源等の生産基盤を整備してきた読谷村やうるま市等は、農林水産物直売所の設立や朝市の開催など都市地域に近い立地条件を生かした農林水産業の展開が十分に期待できる地域です。本圏域の森林面積は県全体の4%で、防風・防潮林の維持造成等による多面的な機能の発揮が期待されています。水産業については、ソデイカ漁業やパヤオ漁業、大型定置網漁業等が行われているほか、モズクやアーサ養殖が盛んで、県内の主要産地となっています。農漁村は美しい景観及び独自の伝統文化等を生かし、農業や水産業と連携したグリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムなどの体験・滞在型観光による活性化が期待される地域です。

▼小ぎくほ場



モズク養殖場

ア 農業

振興方向

- 県外出荷品目であるゴーヤー、さやいんげん、オクラ、にんじん等の野菜やきく、洋ラン等の花きの産地育成や流通販売体制の強化
- かんしょ等の特産品の高付加価値化、ブランド化
- 観光産業等と連携した6次産業化の推進、農産加工施設の整備
- さとうきび振興を支える本島唯一の製糖施設の高度化の促進
- 総合的病害虫防除体系や化学肥料低減等の環境負荷軽減技術を活用した都市近郊型農業の促進
- エコファーマー等の育成による環境と調和した持続的生産体制の構築
- 農業用水源の確保、かんがい施設や区画整理等の各種生産基盤の整備、農業水利施設等の長寿命化の推進
- 子牛や子豚の育成率の向上、酪農及び養鶏の生産振興
- 畜産における生産基盤の整備、家畜排水等の環境対策における監視・指導体制の強化
- 飼養衛生管理基準の遵守や危機管理体制の構築をはじめ、豚熱、鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の防疫対策の強化
- 学習機会の提供や経営・技術指導等による新規就農者の育成支援
- 生産現場や普及指導機関等との連携による課題解決のための技術開発と普及
- 集落景観や独自の伝統文化、紅いも等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮

イ 森林・林業

振興方向

- 森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮を目的とした保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備
- 森林病害虫による多面的機能の低下防止を目的とした防除対策

ウ 水産業

振興方向

- 関連施設の整備や漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新による安定生産・流通体制の確立
- 水産物加工品の開発促進による高付加価値化
- 水産資源の持続的利用に向けた資源管理型漁業の展開

エ 周辺離島

振興方向

- 津堅島におけるにんじんをはじめとする農産物の生産振興
- 地域特産物の出荷コストの負担軽減などによる域外出荷の拡大
- 津堅島や架橋で結ばれる伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島等の島しょ地域における農業や水産業と連携したグリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムの促進

重点振興品目

【耕種】 さとうきび、茶、ゴーヤー、さやいんげん、オクラ、にんじん、食用菊、マンゴー、温州みかん、中晩柑類、びわ、バナナ、きく、洋ラン、観葉鉢物、切り葉、トルコギキョウ、かんしょ、薬用作物類

【畜産】 肉用牛、豚、鶏、乳用牛

【林業】 きのご類

【水産業】 モズク、海ブドウ、アーサ、マグロ類、ヤイトハタ、スジアラ、シロクラベラ、ソデイカ、スギ



03 南部圏域

特徴

本圏域の農業の品目別拠点産地は、さやいんげん等の野菜、マンゴー等の果樹、小ぎく、ストレリチア等の花き、肉用牛、その他にかんしょや薬用作物など 33 産地が拠点産地に認定され、生産振興に取り組んでいます。また、本圏域は農業用水源の整備、かんがい施設、区画整理及び農道等各種の生産基盤の整備が実施されており、都市地域にも近い立地条件を生かした農林水産業の展開が十分に期待されます。本圏域の森林面積は県全体の約8%で、防風・防潮林の維持造成等による多面的な機能の発揮が期待されています。水産業については、マグロはえ縄漁業、パヤオ漁業、ソデイカ漁業等が盛んです。さらに、本島東側海域及び離島ではクルマエビ、モズク、海ブドウ等の養殖も行われています。離島を含む農山漁村地域では、豊かな自然景観や伝統文化等の魅力を生かし、地域資源を活用したグリーン・ツーリズムなどの体験・滞在型観光の取組による地域活性化が行われています。



▲施設園芸団地 ▲キハダマグロの水揚げ

ア | 農業

振興方向

- きく、ゴーヤー、さやいんげん、かぼちゃ、オクラ、ピーマン、にんじ、マンゴー、かんしょ等の拠点産地の体制強化・育成による生産拡大とブランド化の推進
- さとうきびやかんしょの優良種苗の増殖普及等による生産性及び品質の向上
- 薬用作物等の特産品の高付加価値化、ブランド化
- 観光産業等と連携した6次産業化の推進、農産加工施設の整備
- 総合的病害虫防除体系や化学肥料低減等の環境負荷軽減技術を活用した都市近郊型農業の促進
- エコファーマー等の育成による、環境と調和した持続的生産体制の整備
- 湧水や雨水等の利用など南部の地域特性に応じた新たな農業用水源の確保、かんがい施設、区画整理等の各種生産基盤の整備
- 農業水利施設等の長寿命化の推進
- 子牛や子豚の育成率の向上、酪農及び養鶏の生産振興
- 畜産における生産基盤の整備や環境対策における監視・指導体制の強化
- 伝統的に食される山羊の活用促進
- 飼養衛生管理基準の遵守や危機管理体制の構築をはじめ、豚熱、鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の防疫対策の強化
- 学習機会の提供や経営・技術指導等による新規就農者の育成支援
- 生産現場や普及指導機関等との連携による課題解決のための技術開発と普及
- 集落景観や独自の伝統文化、野菜等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮

イ | 森林・林業

振興方向

- 森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮を目的とした保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備
- ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地の森林整備
- 林産物のPRを通じた消費拡大及び生産の促進
- 森林病害虫による多面的機能の低下防止を目的とした防除対策

ウ | 水産業

振興方向

- 関連施設の整備や漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新による安定生産・流通体制の確立
- 水産物加工品の開発促進による高付加価値化
- 水産資源の持続的利用に向けた資源管理型漁業の展開
- 地方卸売市場及び糸満漁業協同組合が運営する鮮魚卸売市場の統合及び高度衛生管理型流通関連施設の整備の促進と流通体制の強化
- 漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新

エ | 周辺離島

振興方向

- 農水産物を活用した特産品の開発、ブランド化
- 観光産業等と連携した6次産業化の展開や販路拡大
- 地域特産物の出荷コストの負担軽減などによる域外出荷の拡大
- 離島地域の経済を支えているさとうきびの増産に向けた取組の推進
- 農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援
- 黒糖ブランドの確立と販路開拓等による需要拡大
- 干ばつ被害や台風等の気象災害から農作物被害を防ぐための農業用水源や防風林等の生産基盤の整備
- 久米島町における海洋深層水を利用したクルマエビ、海ブドウ等の生産振興に向けた取組の推進



重点振興品目

- 【耕種】 さとうきび、ゴーヤー、さやいんげん、かぼちゃ、オクラ、レタス、ピーマン、トマト、にんじん、きゅうり、ハーブ類、マンゴー、パパイア、パッションフルーツ、ドラゴンフルーツ、スターフルーツ、アセローラ、きく、ストレリチア、洋ラン、トルコギキョウ、かんしょ、薬用作物類
- 【畜産】 肉用牛、豚、鶏、乳用牛
- 【林業】 きのご類
- 【水産業】 クルマエビ、モズク、海ブドウ、マグロ類、カジキ類、ソデイカ、キンメダイ、マチ類、ハマフエフキ、スジアラ、シロクラベラ

04 宮古圏域

特徴

本圏域の農業の品目別拠点産地は、ゴーヤー、かぼちゃ、とうがん、オクラ、さやいんげん、マンゴー、かんしょ、肉用牛の11産地が拠点産地として認定され、生産振興に取り組んでいます。また、農業用水源整備や区画整理、かんがい施設・農地防風施設等各種の生産基盤整備が実施されており、今後も多良間地区での新たな農業用水源整備が予定されるなど、さとうきびや肉用牛を中心に露地・施設園芸作物等の生産拡大及び充実が期待されています。本圏域の森林面積は県全体の4%で、適切な森林整備による防風・防潮や木材生産などの多面的な機能の発揮が期待されています。水産業では、パヤオ漁業、カツオ一本釣り漁業、追込網漁業、モズクや海ブドウ養殖など、地域の特性を生かした漁業が行われています。また、美しい海浜景観に恵まれ、グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムなどの体験・滞在型観光による農林水産業の振興が期待される地域です。



▲さとうきびほ場



▲マンゴー栽培

ア | 農業

振興方向

- さとうきび、肉用牛、葉たばこ等の生産振興
- ゴーヤー、かぼちゃ、とうがん等の野菜、マンゴー等の果樹の振興
- 畜産、野菜、果樹等の農林水産物のブランド化
- 自然環境の保全と産業振興が両立する地域の形成
- 観光産業等と連携した6次産業化の推進
- さとうきび農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援
- 黒糖ブランドの確立と販路開拓等による需要拡大
- 自然災害に強い農業施設整備の推進
- 地下ダム等の農業用水源の保全・整備と一体となったかんがい施設、区画整理等の各種生産基盤の整備、農業水利施設等の長寿命化
- 台風など気象災害から農作物被害を防ぐための防風林整備の推進
- 子牛の拠点産地化、肥育牛のブランド化の推進、畜舎整備等の生産振興及び畜産の環境対策や飼料自給率の向上
- 山羊の活用の推進
- 特定家畜伝染病の侵入及びまん延防止を目的とした、関係機関連携による防疫演習や防疫資材の備蓄など危機管理体制の強化の推進
- 学習機会の提供や経営・技術指導等による新規就農者の育成支援
- 生産現場や普及指導機関等との連携による課題解決のための技術開発と普及
- 美しい海浜やマンゴー等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮
- 地域特産物の出荷コストの負担軽減等による域外出荷の拡大

イ | 森林・林業

振興方向

- 森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮を目的とした保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備

ウ | 水産業

振興方向

- スジアラ、シロクラベラ、マチ類等の近海魚介類の資源管理
- モズクやクルマエビ等のつくり育てる漁業の推進によるブランド化
- 流通加工施設等の整備による流通機能の強化
- 漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新、良好な漁場環境の保全、漁業秩序の維持・確保

エ | 周辺離島

振興方向

- 黒糖ブランドの確立と販路開拓等による需要拡大
- 新たな農業用水源の確保による農作物の増収や品質向上、高収益作物の導入
- 山羊の活用の推進

重点振興品目

- 【耕種】 さとうきび、葉たばこ、ゴーヤー、さやいんげん、かぼちゃ、オクラ、とうがん、メロン、たまねぎ、えだまめ、マンゴー、かんしょ、薬用作物類
- 【畜産】 肉用牛
- 【林業】 木材
- 【水産業】 モズク、海ブドウ、アーサ、クルマエビ、マグロ類、カツオ、シャコガイ類、マチ類、スジアラ、シロクラベラ



05 八重山圏域

特徴

本圏域の農業の品目別拠点産地は、かぼちゃ、オクラ、パインアップル（生食用）、ヘリコニア、レッドジンジャー、薬用作物（ボタンポウフウ）、肉用牛の11産地が拠点産地として認定されており、生産振興に取り組んでいます。また、農業用ダムを活用したかんがい施設や区画整理及び農地防風施設等各種の生産基盤の整備が展開されています。本圏域の森林面積は県全体の約35%で、リュウキュウマツなどの森林資源が充実しています。また、適切な森林整備による防風・防潮や木材生産などの多面的な機能の発揮が期待されている地域です。水産業については、一本釣り漁業、潜水器漁業、パヤオ漁業、マグロはえ縄漁業等が行われており、モズクやハタ類等の養殖も生産を伸ばしています。

また、自然に恵まれ、グリーン・ツーリズム、森林ツーリズム、ブルー・ツーリズムなどの体験・滞在型観光による地域活性化が期待される地域でもあります。



▲パインアップルほ場



▲肉用牛の飼養

ア | 農業

振興方向

- さとうきび、パインアップル、水稲、かんしょの生産振興
- かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー等の野菜、レッドジンジャーやヘリコニア等の花き、マンゴー等の果樹の振興
- 畜産、野菜、花き、果樹等の農林水産物のブランド化
- 自然環境の保全と産業振興が両立する地域の形成
- さとうきび農家の所得安定及び製糖事業者の経営安定化に向けた支援
- 黒糖ブランドの確立と販路開拓等による需要拡大
- かんがい施設や区画整理等の生産基盤の整備、既設施設の再編・更新による農業用水の有効活用等の促進
- 台風等の気象災害から農作物被害を防ぐための農業施設の整備や防風林整備等
- 農地を重点とした総合的な赤土等流出防止対策
- 子牛の拠点産地化、肥育牛のブランド化の推進、放牧地高度利用の推進等による供給基地としての産地形成の推進及び畜産の環境対策や飼料自給率の向上
- 特定家畜伝染病の侵入及びまん延防止を目的とした、関係機関連携による防疫演習や防疫資材の備蓄など危機管理体制の強化の推進
- 学習機会の提供や経営・技術指導等による新規就農者の育成支援
- 生産現場や普及指導機関等との連携による課題解決のための技術開発と普及
- 豊かな自然環境や独自の伝統文化、パインアップル等の地域農産物を活用したグリーン・ツーリズム等による交流・体験の推進、滞在拠点の形成や観光産業との連携強化、農林水産業の多面的機能の維持・発揮
- 地域特産物の出荷コストの負担軽減等による域外出荷の拡大

イ | 森林・林業

振興方向

- 森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮を目的とした保安林の適切な管理や治山施設及び防風・防潮林の整備
- リュウキュウマツなどの森林資源の活用の推進
- 森林利用と保全の調和のための森林環境教育等の多様な利活用の推進
- 森林・林業に精通したガイドの養成等による森林ツーリズムの推進

ウ | 水産業

振興方向

- 保護区の設定等によるマチ類、フエフキダイ類、ハタ類等の近海魚介類の資源管理
- モズクやハタ類等のつくり育てる漁業の推進によるブランド化
- 流通加工施設等の整備による流通機能の強化
- 漁港・漁場等の生産基盤施設の維持更新の推進
- 良好な漁場環境の保全及び漁業秩序の維持
- 尖閣諸島周辺水域、日台漁業取決め水域及びその他広域な周辺水域における漁業者の安全操業体制の確保



エ | 周辺離島

振興方向

- 竹富町と与那国町における黒糖ブランドの確立と販路開拓等による需要拡大
- 西表島におけるさとうきび、パインアップル、熱帯果樹、かぼちゃ、水稲等の生産振興、肉用牛との経営の複合化の促進
- 波照間島におけるさとうきび、肉用牛、モチキビ等の振興
- 小浜島におけるさとうきび、肉用牛等の振興及び黒島における肉用牛の振興
- 与那国町におけるさとうきび、水稲、肉用牛、薬用作物の生産振興を通じた経営の複合化の促進

重点振興品目

- 【耕種】 さとうきび、水稲、葉たばこ、かぼちゃ、オクラ、ゴーヤー、さやいんげん、パインアップル（生食用）、マンゴー、レッドジンジャー、ヘリコニア、切り葉、かんしょ、薬用作物類
- 【畜産】 肉用牛
- 【林業】 木材
- 【水産業】 クルマエビ、モズク、マグロ類、カジキ類、ソデイカ、ヤイトハタ、シャコガイ類、マチ類、フエフキダイ類、スジアラ、シロクラベラ、ハタ類

